



産後の家族支援・包括的な性教育・災害看護

保健福祉学部 看護学科
教授 日高 陵好（ひだかりょうこ）

連絡先 県立広島大学 三原キャンパス 3521号室
Tel:0848-60-1120 (代)
E-mail: hidaka@pu-hiroshima.ac.jp

専門分野： リプロダクティブヘルス、母性看護学、災害看護、国際看護

キーワード： 産後の家族支援、セクシュアリティ、性の健康教育、発達障がいと性、災害看護、国際比較

● 現在の研究について

○産後の家族支援研究の一つとして「乳幼児を持つ夫婦のセクシュアリティを含めた夫婦関係と出生力：フィンランドとの比較」を科学研究費助成事業（基盤研究C平成28年～30年）としてフィンランドとの共同研究を行っています。これからは、本研究の結果を発信し、妊娠期から育児期までの切れ目ない支援の貢献につなげたいと思います。この研究は今後も継続していきます。

○「周産期における災害時対応リスクマネジメントに関する研究」を科学研究費助成事業（基盤研究C平成24年～26年）として行いました。病院（産科）における災害対策や妊産婦を守るための一助になるように結果を発信していきます。

● 今後進めていきたい研究について

○産後の家族支援の研究を以下の視点で継続したいと思います。

- ・男性の育児休業取得の促進
- ・乳幼児を持つご夫婦の良好な関係性の構築への介入支援
- ・離島や、中山間地区の子育て支援
- ・ネウボラを担う人材育成支援

● 地域・社会と連携して進めたい内容

○妊娠期から育児期までの切れ目ない支援のためにできることを地域・社会と連携して考えていきたいと思っています。その中でも、離島や中山間地区における子育て支援についても取り組みたいと思っています。

○「性の健康教育講座」という概念で、中学・高校と連携をとって、思春期の性の健康への支援を進めていきます。また、「発達障がい」の方の性を支援していきます。

● これまでの連携実績

○三原市の保健福祉課と連携して、パパママクラスを行っています。

○地域の中学・高校で性教育講演会を行っています。（思春期保健相談士認定）

○三原市・県立広島大学研究開発助成事業にて「災害時の避難所生活における要援護者支援」（平成26年度）の研究調査を本学の3名の教員と共同で行いました。その成果として三原市に報告書を提出しました。また結果の一部を日本看護福祉学会誌で発表しました。